

音楽と私

私と音楽との出会い 千葉シニアアンサンブル・それいゆ 寺島昭夫

小さいころから音楽は身近にあったようです。時間さえあれば家にあったハーモニカを吹いていたようで、毎朝夕吹きながら小学校へ通っていました。3年の時担任の先生に「吹いてみてごらん」と薦められ、皆の前で「スキー」を演奏しました。♪山は白銀、朝日を浴び〜て〜の曲です。4年生の時スペリオパイプという縦笛が導入されると、またそれが気に入り、毎日吹いていました。姉兄も習ったF先生が「寺島、うまい！」と盛んに褒めてくれ、自信を与えてくれました。

中学では新設の音楽クラブでしたが、丁度、東京五輪を控え警察音楽隊が演奏で来校、吹奏楽部創設が加速しました。しかし、諸事情で入部せず、結局、高校で新設の吹奏楽部に入部。担当楽器はアルトホルン（後年メロホルン）。

バイオリンとの出会いは、中学の予餞会で女の子の「ユーモレスク」を聴いて魅了され、習いたいと思っていた時、両親のところに来ていた人が「僕、何かほしいものある？」と聞いてきたので、思わず「ボク、バイオリンがほしい」と言ってしまったのです。後でわかることですが、生命保険の外交員だった母の自転車にその人の会社の車がぶつかって母がケガで入院したのです。そのお詫びにでしょうか、その人が、千葉市の「金丸楽器店」でスズキのバイオリンを買ってくれたのです。早速習いたくて、中学校のK先生の下宿先でレッスンを受けました。部活の一環という扱いで、長野の祖父が送ってくれたリンゴを持って通いましたが、結局、先生の結婚で一年足らずでレッスンは終了。それでバイオリンは終わり、千葉東高校に進むと吹奏楽に夢中になり、高校2年の時、三戸知章先生が指導に来て下さり、初出場した千葉県吹奏楽コンクールでは第二部の第二位を受賞。千葉駅ビル内のレストランで祝勝会をしました。

大学ではバレーボールに熱中。音楽との縁はその後、途絶えます。卒業と同時に入社した国際物流会社のシカゴ駐在の話が決まり、2年半の駐在員生活を経験します。その間、住居近くのピアノバーで歌を歌うことを覚え、ピアノと歌の指導を受けることになりました。



時は移り、48歳の時、末娘がオケで有名な女子高に入学。PTA役員として演奏会へ参列するうちに、すっかりオケと音楽の虜になってしまいました。その頃、稲毛駅前の多田屋がヤマハの「大人のバイオリン教室」を開き、参加申し込み。封印していたバイオリンを知己の銀座山野楽器で調整してもらい、その後10年ほど通いました。後年、指導講師のS先生の推薦で、アマオケの「幕張フィル」に入団。数回、定演に参加させて頂きましたが、年2回の定演の為の練習の日々で、仕事との両立が難しくなり退団。個人教授も時間が取れず休止。その後、ある演奏会でヤマハ仲間のKさんに遭い、千葉シニアの案内資料が送られてきたので、定年退職を機に練習見学にお邪魔しました。楽しそうな雰囲気、一緒に合奏をさせていただき、その楽しさを覚え

ました。2011年3月に入団。以来バイオリンを習った時からの夢だった老人ホームや介護施設への訪問演奏などでみんなと音楽を楽しむ機会が多く、とても充実した日々を送っています。

良き指導者と仲間にも恵まれ、これからも「音が苦」にならないよう、心にゆとりをもって、音楽を楽しみたいと思っています。